



イカリ消毒だからできる!!

なるほど!!

社内勉強会や取引業者研修のための 講習会定番メニュー のご案内

社内勉強会や取引業者研修を開催したいが、「どのような内容にしたらよいか具体的にわからない…」と考えられている企業様に、イカリ消毒が出来る座学セミナーをメニュー化しました。

まずは基本的な事を学びたいという方にオススメです。

なるほど講習会メニュー

裏面 15 パターンからお選びください



※スクール形式の座学セミナーです。

※会場は御社会場またはイカリ消毒講習会場で開催します。(会場費が発生する場合は御社負担にてお願いします)

IKARI

講習会定番メニュープログラム

衛生管理

① 食品衛生監視システムの考え方とそのノウハウ
(失敗しない現場調査の方法と効果)

食品安全の確立には現場監査が重要でその進め方一つで成果が大きく変わる。自社内社外を含めた監査のあるべき姿と具体的なシステム構築並びに効果的技法について解説する。

② 総合的な食品事故防止為の
システム構築の実際

異物混入事故をはじめとする食品安全を脅かす問題は、未だ解決の兆しがない。事故事例などを元に必要な予防的管理システムとその具体的な成果について解説する。

③ 食品製造現場における化学物質の管理の
考え方と実際

今の時代、化学物質の混入・汚染による食品の事故事件はこれまで以上に風当たりが強くなっているが、Fデイエスの概念も相まって、化学物質の管理は多くの食品企業がその解決策を見出せていない。ここでは食品製造現場が最低限抑えておくべき化学物質管理の考え方とかけを解説する。

異物対策

④ 毛髪混入事故防止のための具体的な
管理システムの構築

毛髪管理の基本を前提に、具体的かつ包括的な管理システムを解説する。また効果を上げる具体的な管理手法のあり方について解説する。

⑤ 混入異物の分析手法とその活用の
考え方について

混入異物の分析手法を知ることは、原因究明に必要な情報の適切な収集に役立つ。分析の限界や応用方法を解説し、検査分析システムのあり方を提案する。

⑥ 異物検査を有効活用するには
～異物検査で何が証明できるのか～

異物事故が起きた場合、初期の対応が以降の対策に大きく影響する。その対応の注意点を解説するとともに、異物検査手法自体の説明や、弊社が経験した異物検査事例について紹介する。

⑦ 異物混入事故の再発防止を前提とする
原因究明の考え方

異物混入事故を本当に減らすためには、事故をきちんと見つめる力が重要である。事故原因を考え見抜く重要性和その後の活動の考え方について実践事例を中心に解説する。

⑧ 製造現場での異物混入対策の実際
～従事者主体の現場改善を進めるには～

異物混入対策を実際に進めていくと、多くの現場で「つまづく」ポイントがいくつかあり、結果的に対策の効果が出ないという事態に陥っている。そのポイントとは何か?どのように克服するべきか?を解説する。

微生物対策

⑨ 腐敗変敗事例に見る微生物管理の盲点と
対策の考え方

腐敗変敗に関連する対応事例を元に、微生物管理の不具合に至る原因を解説し、予防的手法としての検査・分析と現場管理について解説する。

⑩ 食品製造現場の微生物対策はこう考える!
(汚染原因の特定と「真因」の見抜き方)

微生物汚染防止のために単に拭き取り検査や目視点検を行ってもなかなか成果は上がらない。効果を発揮するための原因究明や対策立案のポイント・コツについてを解説する。

有害生物管理

⑪ 新しい時代に対応した
有害生物防除システムと今後

ISO 22000 時代を迎えて、マネジメントシステムの要素のない有害生物防除はあり得ない。これまでの経験と実績から効果的な防虫システムのあり方を解説する。

⑫ 実験結果や各種データで示す
防虫管理のポイント

防虫を検討する上で、これまで常識とされてきた事項を調査・実験データにて、徹底的に検証した内容を紹介する。(モニタリングの地域別季節性、陰圧陽圧での虫の侵入実験、封水トラップ効果など)

教育訓練

⑬ 5S管理の考え方と進め方
(なぜ5Sはうまく定着しないのか)

ほとんどの企業が重要視している「5S」だが、本当の意味で活用している製造現場は数少ない。5S定着の難しい理由を明らかにし、効果的な進め方を解説する。

⑭ 効果的な衛生管理のための従業員教育訓練
システムの考え方と具体例

衛生管理の教育訓練は管理対象とする事柄によって、組み立て方に違いがあり、一律な手段では成果が上がらない。実践事例を前提に効果のあがる手段内容を解説する。

トレーサビリティ

⑮ 製品原材料管理の実際と製造現場における
製造履歴の重要性

トレーサビリティが重要となった今でも製造履歴の把握が困難な場合は多い。調査実績をふまえて理想的な管理と必要な管理のギャップを解説し目的にあった管理の仕組みを解説する。

※詳細は当社コンサルティング部にご相談下さい。Tel:03-3350-6321

環境エンジニアリング 全国100事業所

お問い合わせ

IKARI **イカリ消毒株式会社**

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11 Tel.03-3356-6191 Fax.03-3350-1405

大阪オフィス 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-4-8 Tel.06-6264-2741 Fax.06-6264-2740

http://www.ikari.co.jp/